

しんあい

季刊

2011年(平成23年)11月5日発行 第80号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい



作品と笑顔を生み出すひととき（あさひ苑）

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ・新・介護保険を考える2
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨
- ・しんあい展覧会
- ・生きる・老いる・死とは
- ・施設だより
「それぞれの秋」

を考える 2

システムのあゆみ〈府中市の場合〉～

常務理事 鈴木恂子



今回の介護保険制度の大きな柱となっているのが、地域包括ケアシステムです。地域包括ケアシステムとは、高齢者が地域で自立した生活が営めるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供されること、その実現が法改正の目標です。

そのために前号でご紹介したとおり、医療、介護、予防、生活支援、権利擁護、住まいの5つの取り組みが重点となりました。2000年4月介護保険がスタートし「介護」に重点がおかれてきましたが、介護保険制度だけで地域の高齢者をとりまく様々な課題を解決することはできません。この10年の間予防が叫ばれ、医療との区分と連携が繰り返し議論されて、現在も最大の課題になっていますが、高齢者が安心して生活するためにまず必要な基盤は「住まい」と「生活支援」です。

2009（平成21）年 府中市の動き	2012（平成24）年 新介護保険法－地域包括ケア	考 察
<p>包括支援センターが予防プランに偏った反省の下で、介護予防以外に総合相談、権利擁護、ケアマネジャー支援などに力を入れるように国の方針が出されました。そうした動きをうけて、府中市は地域の在宅介護支援センターを順次包括支援センターに移行しました。</p> <p>2009（平成21）年 府中市立の ・あさひ苑 ・よつや苑 ・しみずがおか</p> <p>2010（平成22）年 ・泉苑 ・安立園 ・かたまち（ピースプラザ）</p> <p>2011（平成23）年 ・しんまち ・にしふ ・これまさ ・みなみ町 ・緑苑</p> <p>平成23年4月には以上11の包括支援センターがスタートしました。</p> <p>包括支援センター運営協議会、サービス担当者会議として、地域包括支援センターを中心に関係機関が集まり、高齢者のみならず、とりまく家族問題を解決する連携がつづいています。</p>	<p>高齢者が地域で自立した生活が営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みをすすめることが法改正の目標になっています。</p> <p>そのための新しいサービスの創設が発表されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設 ①訪問介護・訪問看護の一体的提供（24時間365日のサービスを提供している老人保健施設や特別養護老人ホームも検討の対象になっているようです） ②訪問介護ステーションと訪問看護ステーションの連携 ・複合型サービスの創設 小規模多機能施設と訪問看護ステーションの複合など ・比較的元気な高齢者や要支援の方々を対象とした介護予防・生活支援総合事業なども検討されています。 	<p>高齢者の福祉は、介護保険制度により大きく変化しました。人の生活を支える制度を変更する場合は、変革すべきこと継承すべきことがきちんと精査されないと、地域では大きな混乱につながります。</p> <p>府中市の場合、制度が変わる節々で慎重な選択がなされました。</p> <p>次年度に向けて示された地域包括ケアは、25年前の1987（昭和62）年6月8日の厚生省三局長通知「高齢者サービス総合調整推進会議等の設置及び運営について」の「高齢者の増大かつ多様するニーズに対応し、最も適切なサービスを提供するために、保健・福祉・医療の各施策の調整と総合的推進を図るシステムを整備することが求められている」という目的に通底するように思われます。この通知をもとにサービス調整チームが設置されました。</p> <p>地域包括ケアは決して新たな取り組みではなく、介護保険以前の老人福祉制度のなかで取り組まれていた内容のリニューアル版ともいえます。</p>

1992（H4）年 地域老人福祉連絡会は府中市高齢者サービス調整チームに引き継がれ、発展的解消しました。

府中市高齢者サービス調整チーム 構成機関
 ・府中市医師会・歯科医師会・薬剤師会・東京都府中保健所・府中市民生委員児童委員協議会・信愛泉苑・信愛緑苑・安立園・府中市立よつや苑・府中市立あさひ苑・泉苑ケアセンター・府中市社会福祉協議会・府中市民福祉公社・府中市 福祉部長・福祉部次長・高齢者福祉課・生活福祉課・障害者福祉課・健康課・地域福祉課

府中市高齢者サービス調整チーム
(H10～H19)

➔

2000（H12）年以降は基幹型支援センターを中心にしたサービス担当者会議

『府中市高齢者サービス調整チーム（平成4年度～平成9年度）』（H10年3月 府中市福祉部地域福祉課）：サービス調整チーム6年間の活動報告書。単独のセンターでは解決できない事例を関係機関が集まり役割分担した実践記録。



新・介護保険 ～地域福祉計画から地域包括ケア

介護保険法が改正されて、各自治体では第5期の計画策定に着手しています。

平成に入ってから地域福祉計画づくりがすすめられた府中市は全市を6つの福祉圏域に区分し、計画的に拠点となる施設を整備しました。そして支援センターを設置し、民生委員の担当も5地域から6地域へ、当時の保健所の保健師の担当も6エリアを意識した担当制となり、福祉公社も6エリアの担当にと、地域福祉計画が6つの福祉圏域の下で整備されました。

併せて、平成6年に府中市社会福祉協議会は地域福祉活動計画を策定し、以後エリアごとの地域懇談会を開催し、タテ割になっている地域の課題（消防・防犯・ゴミ・子どもの安全・高齢者のみまもり等々）が各関係者の参加により「面」で話し合い、地域福祉が進展しつつありました。

2000（平成12）年以前 府中市の地域福祉計画	2000（平成12）年 介護保険制度施行	2006（平成18）年 介護保険制度改正・予防重視
<p>1975（S50） 特別養護老人ホーム信愛泉苑（定員50名）開設【第5エリア】翌年からショートステイ、入浴サービス順次開始</p> <p>1980（S50） 泉苑ケアセンター開設</p> <p>1987（S62） 府中市地域老人福祉連絡会スタート（下段参照）</p> <p>1991（H3） 泉苑在宅介護支援センター開設</p> <p>1992（H4） 府中市高齢者サービス調整チーム発足（下段参照） 府中市立よつや苑 開設【第6エリア】</p> <p>1993（H5） 府中市立あさひ苑 開設【第1エリア】</p> <p>1994（H6） 安立園特別養護老人ホーム【第3エリア】・しみずがおか在宅サービスセンター 開設【第2エリア】</p> <p>2000（H12） 3月：府中市高齢者サービス調整チーム6年間の報告書 4月：老人保健施設ピースプラザ 開設【第4エリア】</p> <p>府中市福祉圏域6ヶ所すべてに拠点施設が整備され、それぞれに在宅介護支援センターが配置されました。</p>	<p>府中市に基幹型在宅介護支援センターがおかれ6つの福祉圏域の在宅介護支援センターは地域型在宅介護支援センターと位置づけられました。</p> <p>その後、府中市は在宅支援センターを増設し、11の地域型支援センターがそれぞれの地域を担当し活動しました。</p> <p>一方基幹型支援センターは平成13年府中市から府中市社会福祉協議会に移行しました。基幹型支援センターにサービス調整会議がひきつがれ、関係者が連携の下で問題解決にあたる個別の事例について検討する担当者会議も継続しました。</p> <p>2000年以前の関係者会議の中から生まれた24時間巡回型のホームヘルプ事業は市の事業として府中市立のあさひ苑とよつや苑で実施されました。あさひ苑でも一日25件ほどの夜間深夜早朝の巡回型援助を行っていましたが、介護保険制度になり市の事業ではなくなり、利用者も激減し、深夜のサービスはなくなりました。</p>	<p>在宅介護支援センター（老人福祉法）は地域包括支援センター（介護保険法）へ、制度改正がありました。</p> <p>府中市は包括支援センターを市の直営とし、在宅介護支援センターは従前の援助が維持継続されました。</p> <p>そのため多くの自治体で包括支援センターが予防プランに追われてしまった混乱を回避することができました。</p> <p>また、市の直営となったため、市の担当者が地域実態をリアルに把握され、地域在宅介護支援センターとの連携がより深まりました。基幹型支援センターは市の包括支援センターに替り、運営協議会、担当者会議等の事務局も市の担当になりました。</p>

1987（S62）年 府中市地域老人福祉連絡会 泉苑ケアセンターの呼びかけで発足しました。

府中市地域老人福祉連絡会 構成メンバー

- ・府中市 福祉部高齢者福祉課・福祉事務所・生活文化部健康課・府中市社会福祉協議会・府中ボランティアセンター・都立府中病院相談室・警察病院多摩分院相談室・府中市民公社・府中市立心身障害者福祉センター・東京都府中保健所・高齢者在宅サービスセンター泉苑ケアセンター・養護老人ホーム信愛寮・特別養護老人ホーム信愛泉苑・（協力）府中医師会



『平成3年版 援助が必要な高齢者へのサービス一覧』（府中市地域老人福祉連絡会 編）：現在の府中市「高齢者へのサービスガイド」に引継がれています

安心で健やかな暮らしを支えます！

～府中市高齢者住宅 うらら多磨～

府中市立あさひ苑センター長 清野 哲男

平成5年8月開設以来府中市立あさひ苑の運営を通じ、また在宅介護支援センター・地域包括支援センターの活動を通じ、地域の拠点施設として高齢者の「住」と「食」にこだわり地域実態を把握してきました。

一 虚弱化し、支援が必要になった高齢者が一体どこで生活しているのかを考察した場合、介護保険制度導入に前後して老人福祉法に定める老人福祉施設の機能が低下し、独居や高齢のみ世帯の方が要支援や要介護1、2で現在の家に居住できなくなつたときの行き場所がほとんどありません。当法人が運営する特別養護老人ホームや養護老人ホームに入所されている方の中にも、遠方の病院や老健の入所を経験からの方が数多くいらっしゃいます。

今回、府中市から市有地の貸与をうけて、東京都医療介護連携型高齢者賃貸住宅モデル事業の補助金交付を受け、高齢者が安心した生活を地域で継続できる府中市モデルを作っていくたいと考えています。

それは、現在介護や生活支援を必要としている高齢者の中で、経済的な問題や家族背景で、在宅での生活が困難になっている方々に対して、高齢者専用賃貸住宅を運営し、東京都モデルの主旨を踏まえ住宅でありながら福祉施設の生活支援機能を備えた中間的事業運営を目指すものです。

■ 入居するための条件

I 対象となる方

- ・65歳以上で、共同住宅で生活できる方。
- ・ひとり暮らしで、食事の準備などで生活に不安を感じている方。
- ・府中市在住で現在お住まいに困っている方。

II 1ヶ月にかかる費用

- 1) 住宅居住賃料 : 53,000円
- 2) 生活支援サービス利用料 : 15,000円(税別)
- 3) その他利用に応じて必要な主な実費
 - ①食事代
 - ②光熱水費
 - ③併設診療所の医療費
 - ④介護保険サービス・福祉サービスの利用料

■ うらら多磨の設備

- 1階**
- ・地域交流スペース
 - ・診療所
 - ・ワーカー室
 - ・スタッフルーム
 - ・浴室・食堂
- 2階**
- ・居室3室(18.56㎡:2室 19.05㎡:1室)
 - ・居室10室(18.56㎡:9室 19.05㎡:1室)
 - ・談話室・家事室

※各居室に、トイレ、ミニキッチン、クローゼットを設置しています
(1階は車椅子対応トイレ、2階はシャワールームがあります)

■ うらら多磨の所在地

〒183-0002 東京都府中市多磨町2-56-2

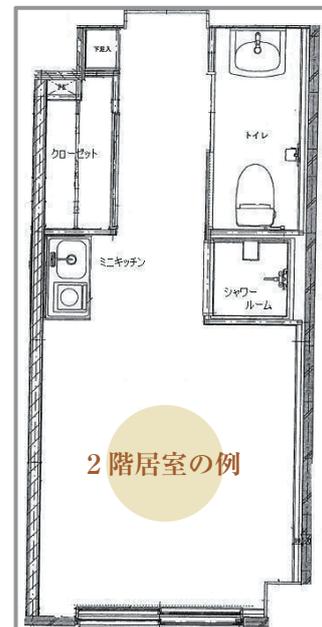
■ 交通案内

西武多摩川線多磨駅下車徒歩15分

入居についてのお問い合わせ先

府中市立あさひ苑 TEL 042(369)0080

(なお11月1日現在、全室入居予定者は決定しております)



府中市高齢者住宅 うらら多磨 平成23年12月1日入居開始！



広々とした2階廊下



ミニキッチン（1階居室）



朝陽の入る1階食堂



東八道路に面していますが、東側は緑豊かな野川公園があります。



介助用の浴槽もあります。



居室からの緊急連絡は管理人室で受けます。

建物はおしゃれな2階建て。1Kの居室が1階に3室、2階に10室の合計13室。居住者の談話室は2階に。1階には食堂と、浴室（浴槽が2つあり1つは介助用）。また併設する診療所と、地域の方々も利用できる地域交流スペースがあります。

日々の利用者の生活や健康面については、コーディネーター職員が寄り添って相談役となります。食事は車で5分弱のあさひ苑から提供する配食サービスをご利用いただけます。日々の利用者の情報は、コーディネーターから併設する診療所の医師へは勿論のこと、府中市地域包括支援センターあさひ苑に定期的な報告を行うことで、包括的継続的支援を目指します。

介護保険サービスが必要になった利用者については、必要に応じて併設診療所医師に主治医になっていただくことやバックアップ施設であるあさひ苑の居宅支援事業・訪問介護・高齢者在宅サービスセンター（通所介護・短期入所生活介護）や市内介護サービス事業所と連携していきます。また保険外の福祉サービスや、地域のインフォーマルサービスも含めた総合的な支援を行いたいと考えています。特に、隣地にある保育園とは友好的な交流を積極的にはかりたいと計画しています。

また、この住居の特性として元来市内各地域包括支援センターで支援していた方が数多く入居されることもあり、統括的に府中市福祉保健部高齢者支援課・障害者福祉課・生活援護課と連携し速やかな問題解決につなげていきます。また、入居後に状態が変化した場合も、当法人が府中市内に持つ3つの特養、養護老人ホーム、診療所を運営する医療法人和風会の協力を得て、入院・入所なども含め将来にわたって安心できる支援活動を行います。

わずか13戸ですが制度の狭間となる高齢者の大切な時期をしっかりと支え、健やかに安心して生活できる貴重な場として有効的に運営してまいります。府中市多磨町の皆さまをはじめ、ご支援、ご指導をよろしく願いたします。



芸術の秋 しんあい展覧会



表紙では、あさひ苑の方々が手芸をしている風景をご覧頂きましたが、各施設からも素敵な作品が届けられました。芸術の秋です！利用者みなさんと職員の、渾身の力作をご覧ください。



「パウダーアートマグネット」(きずな)
作：学童のこどもたち
～敬老会のプレゼントは毎年手作りです～



「貼り絵の合作」(泉苑)
作：ホーム・ショートステイのみなさん



「まつぼっくりの家族」(たち)
作：ひろばK職員
～スポットタイムで使用した
まつぼっくりを飾りにしました～



「折り紙動物園」(泉苑)
作：ホームMさん



「すべり台」(たち)
作：ひろばMちゃん
～大型積み木で
素敵なすべり台を
作りました～



「秋」(連雀)
作：デイサービスの皆さん
～悪戦苦闘しながら、作品を作っています～



「みどりがめ」(しらとり)
作：オープンルームRくんとお母さん
～小麦粉ねんどで一緒に作りました～

「絵手紙と貼り絵」(岩本町)
作：ケアハウスの皆さん





「針山とうさぎとぶたのマスコット」
（あさひ苑） 作：デイサービスのみなさん
～みんな手作りです。
おとぎの世界みたいでしょ♪～



「親子てがた」（しらとり）
作：Yちゃんとお母さん
～おやこプレイタイムで
一緒に作ったてがたです～



「木彫り」（岩本町）
作：ケアハウスのみなさん



「丹精込めて作った流木磨き」（緑苑）
作：ご利用者の金打裕己様
～真夏でも真冬でも外で一所懸命に作業しています！～



「生け花」（泉苑）
作：デイサービス A さん



「着せ替えうさぎ」（たち）
作：リフレッシュ保育 K ちゃん
～季節ごとの帽子や洋服、アクセサリは
K ちゃんのコーディネートです～



「ランチョンマット」
（岩本町）
作：デイサービス S さん

「アロマキャンドル」（きずな）
作：こどもたちとお母さん
～好きな色を上手に
組み合わせて作りました～



社会福祉法人 多摩同胞会公開講座

「生きる・老いる・死」とは



平成23年9月2日かんだ連雀において、社会福祉法人三徳会理事長・東京医科大学名誉教授であり、多摩同胞会の理事でもある内野滋雄先生をお迎えし、講演会を開催しました。

この講演のテーマは高齢者をより深く理解する為
に実施する職員研修を公開講座として一昨年より開
催し今年で3回目となります。

初めて参加される方も多く、加齢・老化・高齢と
ともにみられやすい変化などを科学的根拠に基づい
てわかりやすく説明してくださいました。

老化は個人や人種、環境、遺伝子等で差はあるも
の、20歳代から始まる。そして人間は何歳くらい
まで生きられるのか。動物の種類によって寿命はほ
ぼ決まっており、大型動物ほど寿命は長い。しかし、
ヒトは例外です。



講師内野滋雄先生の学術的でなおユーモアあふれるお話でした。

現在、日本人の平均寿命は83歳でイタリア半島
にある小国サンマリノと並び世界一位です（20
10年WHO調べ）。

WHOでは「健康寿命」という新しい指標を示
しました。これは「一生涯（平均寿命）のうち、
日常生活で支援や介護を要しない、自立して生活
できる期間」のことです。この「健康寿命」の考
え方で計算すると75歳となり、8年近くは何かし
らの援助が必要となってくることになります。

では健康で長生きするために良く生きるため
にどのようなすればよいか。それには、食生活、肥
満や高血圧、喫煙、運動不足等に注意しながら精
神的にも豊かで楽しく生活することが大事なのです。

講演ではレオナルド・ダ・ヴィンチについての
講義もありました。ダ・ヴィンチは万能の天才と
いわれており、画家、彫刻家、建築家としてはも
とより、天文学、物理学、地理学、機械学、空気力学、
また、動物学や医学、特に解剖学は天才的な解剖
図を描いています。ダ・ヴィンチの解剖図は、し
ばらくは世に出ることなく埋れていました。彼の
筋肉の解剖図は、皮膚の表面の隆起などから始ま
り、彼自身が人体を解剖し、筋や腱の細密極まり
ない描写は非常に優れおり、芸術的です。それは、
人間の不思議な動きや現象を自分で解剖し納得し
て描いたからでしょう。

ダ・ヴィンチにとっては老いも人体の中身もそ
のメカニズムも「美」でありそれを追究していっ
たのでしよう。

保健・医療・福祉は、ギリシャ時代はアートと
呼ばれ一つのものでした。これらは人を対象とす
る学問であり技術でありましたがそれぞれに分化

し、科学の道、哲学の道などに分かれて発展してき
ました。

先生は「福祉はサイエンス」という理念をお持ち
です。福祉は心であるという点も大切ですが、現場
においては科学的な思考でみることも大切だとい
います。例えば心に衝撃を受けた場合、顔が蒼白とな
り、脈が速く、食欲がなくなります。これは自律神
経によるものです。そのことを知って人に接するこ
とは大切なことです。

約70名の参加をいただきましたが参加された多く
の方が毎日の生活をどういう気持ちで生きていつた
らよいかを考える良い機会になった、とおっしゃっ
ています。今後も皆さんとともに考える場を作って
いきたいと考えています。

（岩本町ほへみプラザ次長 高橋 誠）



熱心にメモをとる方も

9月29日にはルミエール府中にて同じ内容の講演
会を開催し、140名の方々にご参加いただきました。

施設 だより



空 爽やか に それぞ れの 秋



秋は空が高く、それだけで気分がいいですね。
芸術の秋、読書の秋とありますがやっぱり食欲の
秋が一番のようです。

あさひ苑

秋の一大イベント

秋といえば敬老を祝う会。あさひ苑ホームでも一年で一番大切な行事となっています。今年も、『ご利用者の皆様に感謝の気持ちを伝えたい』と職員による演芸を行いました。



そのうちの 하나가、書風太鼓です。太鼓の音と司会の実況に合わせて、大きな和紙に、筆で「鶴」と「亀」を書いていくのです。筆に合わせて太鼓を鳴らしたり、実況を行うために何度も練習を重ねてきました。司会を担当した職員は、休日にひとり、カラオケ店で原稿を何度も声に出して覚えておきました。その甲斐あって、当日は予想以上の大成功！ご利用者の歓声の中、盛況のうちに終えることが出来ました。

ご利用者の皆様にいつまでも「鶴」のように美しく、「亀」のようにゆったりと過ごして頂きたいと思っております。

(あさひ苑 介護員 米川 香奈)

岩本町

グループホームの敬老会

秋の一大イベントの敬老会。グループホームいわもとでは9月18日、第1部の祝賀式典は厳かに、第2部の祝いは賑やかに開催しました。ボランティアによる「バイオリン演奏」、家族合唱団による「合唱」、職員による「皿回し」、「よさこいソーラン節」などなど。美味しいケーキやお菓子を食べながら、わいわいと楽しく盛大に、ご長寿をお祝いすることができました。

グループホームのご利用者が本当に幸せそうな顔をされていました。参加された全員が楽しかった。良かった。と思える敬老会だったと思います。皆さまの益々のご健康、ご長寿をお祈りいたします。

(グループホームいわもと 介護員 保坂 美加)



しらとり

小さい秋 みつけた

今年9月に入っても残暑が厳しい日々が続きました。8月中、天気の良い日は水遊びの毎日だったので、久しぶりにみんなで近くの公園までお散歩にいきました。

まだせみの鳴き声も聞こえ、せみが好きな子どもは、「みんなは？」と聞いてきました。

向かう途中の大きな木の下には、どんぐりや栗の実が落ちていました。みんなで拾いながら公園に行きました。公園についてからもひなたは暑く、汗ばんでしまうほどの陽気でしたが、風はすずしくて秋を感じました。また草むらの中にバッタを発見。中には10cm以上の大きな



(しらとり) 保育士 白井 厚子

バッタもいましたが、子ども達はこわがることなく手でつかまえることが出来ました！そんな子ども達とお散歩で小さい秋をみつけた一日でした。

緑苑

梨を片手に 「ハイポーズ！」

9月初め、朝から小雨が降るけれどまだ残暑が続く日に、特養のご利用者4名と稲城市の梨園へ果物狩りに出かけました。

農園に着いた頃には小雨も止み、すっかり良い天気に恵まれました。

ふと上を見上げると、巨峰が棚にたわわに実っていて、皆さん思わず、「うわぁー、すごいわね！」と感心されていました。

もぎたての甘い稲城梨や巨峰を、その場で沢山いただきました。

あまりにも美味しかったからかでしょうか、会話をするのも忘れ、秋の味覚を夢中で味わっていました。



ご家族の皆様も楽しめた様子でした。
(緑苑 介護員 鎌田 竜治)

きずな

何の秋??

先日、きずなでは那須に日帰り旅行へ行ってきました。ちょうど、台風も去って秋らしく気持ちのいい天気の日でした。

那須に到着してまずは『アロマキャンドル作り』。色も自分たちで作り、世界に一つだけのキャンドルが完成!!

そして、ランチは『森のビール園』でビュッフェ。大人はビールを飲んだり、子ども達は好きなものをいっぱい食べて大満足!!

今回のメインは『アルパカ牧場』。みんなアルパカに餌をあげたり、触ったり、アルパカも食欲の秋!?アルパカの食欲にびっくり!! 普段はおだやかなアルパカも餌がもらえないとツバをとばして怒ります。でも、上の前歯がないので噛まれることもなく小さい子どもも餌があげられるんです。ふわふわのアルパカ達にとっても癒されました。



芸術の秋に食欲の秋...。一日でたくさんのお腹を満喫して来ました♪
(きずな 保育士 山田 恵未)

泉苑

秋の訪れ

「暑さ寒さも彼岸まで」というように彼岸を境に暑さが和らぎ、待ちに待った秋がやってきました。お彼岸の食べ物といえば「おはぎ」。小豆の赤い色には、昔から邪気を祓う、災難を除けると信じられており、お彼岸に先祖を慰めるための捧げ物として、また秋にはその恵みに感謝するために作られ食べられるようになったそうです。

泉苑ではお彼岸のお中日の昼食に手作りのおはぎを提供しています。こしあん、きなこ、ゴマの3種類。ご利用者の噛む・飲み込む力に合わせてもち米と精白米のおはぎ、お粥で作った柔らかいおはぎもペースト食の方用のソフト食のおはぎも作りました。

食堂の様子を見に行くと、「さっぱりした甘さのきなこが好き」「ゴマが一番」という方もいらっしゃいましたが、一番人気なのはこしあんでした。「春が牡丹餅で、秋が御萩なのよね」「家庭的な味で美味しいいわよ」「昔は私も、自分で作ったのよ。もち米と精白米を炊いたら半つきにするのよね」(米を突くポーズ)とそれぞれ話に花を咲かせておられました。



これから深まる秋には、旬の食材を使い食事を通して、皆様に秋をお届けしていきたいと思えます。

(泉苑 管理栄養士 親泊 美輝子)

たち

食欲の秋・音楽の秋♪

少しずつ涼しい風が感じられるようになり、外遊びが気持ちよい季節となりました。ひろばは毎日たくさんのお子さんたちで賑わっています。

9月には、1歳児交流会「はいぼ」がありました。はじめの一步を踏み出したお友だちと一緒に楽しく遊ぼう！と2グループそれぞれ14組、16組のご家族が参加されました。

今回は秋にちなんで栗もぎや楽器を使い、楽しい時間を過ごしました。

「大きな栗の木の下で」を歌った後に、栗の木へ出発！初めての栗もぎにドキドキしながら栗の木に手を伸ばして、収穫した栗を手にお子さんたちはニコニコ笑顔！思わずパツクンしちゃうお子さんも！「おいしそうだね」「これは栗っていうんだよ」と、楽しそうな笑顔や笑い声が響いていました。

また、鈴やタンバリン等の楽器を自由に鳴らし「山の音楽家」を歌いました。お母さんと一緒に楽しく楽器を振るお子さん、楽器の音に思わず泣き出してしまってお子さんもいたりして、とても微笑ましいひとときでした。

食欲の秋・音楽の秋を満喫した交流会でしたが、ひろばでも秋らしく模様替えをしてみなさんをお待ちしています。ぜひ、ひろばで秋を見つけてみてください。



(たち
交流ひろば担当
熊谷 幸子)

連雀

秋といえば、やっぱり!!

日中も涼しくなり、秋らしくなってきた今日この頃。秋といえば「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と色々な楽しみがありますが、ホームのみなさまの楽しみといえば、やはり「食欲の秋」ではないでしょうか？

かんだ連雀の食事でも秋刀魚やさつま芋、松茸と秋の食材が並ぶことが増えてきました。

先日、普段は食事介助により召し上がっているご利用者が、ご自身の力で召し上がるようになっていた姿を見かけ、我々職員が驚く事がありました。これも「食欲の秋」の力なのでしょうか？

私たちも、ご利用者の食事の時間は常にお腹がグー、グー、と鳴りっぱなしです。季節の食材で体力をしっかりと付け、寒い冬に立ち向かって行きたいものです。

(かんだ連雀 介護員 柳瀬 行宏)



ニュース

9月に法人ホームページを一部リニューアル!

今回のリニューアルでは、ご見学の際などにいただくご質問と回答をまとめた「よくあるご質問」、法人の基本指針にも掲げている「防災への取り組み」、この季刊誌で連載中の「介護保険を考える」の抜粋をまとめたページなど、新たなページを開設しました。

また「職員からのメッセージ」で平成23年度版を掲載するとともに、トップページなどでデザインの一部変更も行ってまいります。

今後もこの季刊誌や法人ブログ「日々のあゆみ」とともに、皆様に施設の活動や情報をより分かりやすくお伝えできるよう、充実したホームページを目指してまいります。

皆様からのご意見やご感想をお待ちしております。

(三輪美奈)



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

株式会社凱風舎 NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 小泉栄
社会福祉法人東京福祉会 東京都食肉生活衛生同業組合 ふれあいクラブ浅間一本木体操会 株式会社三菱東
京UFJ銀行 弓削田恵美子

(2011年7月~2011年9月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

- 会田久枝 青山幸子 赤林好子 秋葉容子 浅野貞子 浅見スジ子 網代恵美 網代弘子 有本陽子 飯塚喜亥子 井口イマ 囲碁を楽しむ会 石井悦子 石井忠男 石井久子 石井宏 石坂勝世 石坂友子 石坂美代子 石澤圭子 泉奈緒子 市川アイ子 市川知子 伊藤うめ子 伊藤徳三郎 伊藤富美子 井上真左子 井上陽子 井踏世津子 今喜夢トシエ 岩佐和栄 岩崎順 岩崎敏信 上田悦子 上野恒章 上原智美 植松恵美子 植松八千代 魚川桂子 鶴澤シツ 白井三樹 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 上床晃代 江口亜津子 江田廣子 海老澤信子 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大久保峯子 大倉弘子 大島庸子 大竹義昭 大塚沙恵 大野典子 小笠原和美 緒方シゲ子 岡野玲子 岡裕子 小川君子 小川健治 荻野和子 小熊美和子 奥山亜子 奥山トヤ子 小倉富子 小倉道子 オコサの会 尾崎節子 尾崎晴子 尾崎絃行 尾崎ヨシ子 尾崎佳子 小澤アイ子 小澤末子 御野礼子 折田浩一 海江田紀久子 学生団体SOLA 笠間豊子 鹿島千重子 梶山アサミ 柏山和子 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤紀久代 加藤静加藤博子 加藤美美子 加藤洋子 金澤静江 金子武仁 上沢美和子 上中香代 亀岡紀知信 かよこ会 川崎綾子 川邊明子 神田由紀子 北村よしこ 木村幸子 木森哲 草野裕恵 草野美鈴 久保田摩耶子 蔵内睦子 栗原宏子 栗田勝 桑原侑子 弦間まさ 小石暁子 小出農一 小出由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林真弓 小林美代子 小牧直子 是永美代子 紺野和子 今野幸子 齋藤孝子 齋藤則子 斉藤ヨシ子 野井和子 坂本越子 坂本文子 佐久間桂子 櫻井正治 桜山健 佐々木真由紀 佐藤秋子 佐藤公子 佐藤敬子 佐藤妙子 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤芳江 佐野綾子 佐野田鶴子 ザ・ポディショップ 塩澤佳津子 重田文子 下町かつぱれ雅 品田啓子 清水文枝 下江美鈴 下中恵美子 下宏子 十べえお話の会 庄山早希 白石淑子 白神早斗子 神和之 進藤サエ子 進藤輝子 杉浦愛犬
- 訓練所 杉浦邑子 杉本節子 杉山恵子 鈴木好枝 鈴木美樹 鈴木嘉子 スターバックスコヒー 砂原喜美子 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 蘭田澄子 高井汪子 高澤和美 高鍋恵子 鷹野菜子 高橋恭子 高橋啓次郎 高橋ちよ子 田口裕香 竹内由美子 竹之内愛子 竹松ふく 湛啓子 辰本ケイコ 田中久美子 田中幸子 田中多佳子 田中智加子 田中翠 谷澤ミツ子 田部美智子 多摩スマイル吹奏楽団 土屋とき枝 東郷實枝子 遠山憲子 戸島正子 柄谷さき 富田和代 富田秀子 永井文子 中下秀子 中嶋永子 長島敬子 長島広美 永峰伶子 中村紀久子 中村清美 中村フサ子 中村恭俊 中山康 中山雅子 西久保長子 西宮智恵子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 野坂いく世 萩原八枝 橋場昭 橋本麻 橋本恵子 長谷川宣子 羽鳥みのる 濱田真理奈 林由美子 羽山直子 原恭子 原田園彦 原田康子 原田良子 樋口淳子 樋口雅子 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子 平澤みどり 平田敦子 広木さく江 藤田裕二 船岡栄子 舟久保良子 舟見三佐子 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野ユキエ 星野若佐 堀田武三郎 ポディショップ 堀切重明 堀泰和 本田純子 前田宗治 政所優季 町田知行 松浦良枝 松尾和枝 松澤通子 下朗 松下朋子 松田恵子 松野アイ 松村敬子 松本宜恭 松谷茂 三坂和子 水谷静江 三井淑子 箕輪和子 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 宮下美智子 明神淑恵 明神冷子 武蔵国府太鼓翔駒会 村井福子 村野豊子 目々澤美智子 百瀬洋子 森満隆文 森玲子 森脇敦子 八重の会 谷貝祥子 柳澤直美 山口久子 山下優子 山田一丸 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山本峯子 鐘溝千寿子 ゆうかファミリー 吉川幸一 吉田育子 吉田恒雄 吉田ヒサ子 吉田睦子 米山秀子 琉球國祭り太鼓 りりまつりの会 脇山令子 渡辺勇 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺久代 渡辺秀雄 渡邊弘子 渡邊房子 渡辺光枝

(2011年7月~2011年9月)

編集後記

本に親しむのには良い季節になりました。今年は「読書の秋」でいこうと思います。
(あさひ苑 伊東裕子)

涼しくなり、汗に邪魔されずにできる寝る前の柔軟体操。の道りが楽しくなりそうです。
(あさひ苑 比嘉敦恵)

紅葉が綺麗になったら、お弁当を持って景色の良い場所に出かけたいです。
(泉苑 親泊美輝子)

夜はよくラジオを聴きながら寝るのですが、秋だけは虫の音に耳を傾けてみるのが常です。
(泉苑 小柳忠幸)

敬老会も無事に終わり、余興のダンスを必死に覚えた日々が懐かしいです。
(岩本町 柳 英恵)

季節の変わり目、体調管理には十分気をつけたいと思います。
(かんだ連雀 浅見達也)

食欲の秋がやってきました。季節のおいしい食材を使って、料理に励みたいと思います。
(さすな 浦上さわ)

軽いダウンもいけれど、ウールのコートに袖を通すと冬が足元に来ているのを感じます。
(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで!

- 泉苑 **0120-6540-24** 老後支援 24時間
- あさひ苑 **0120-2942-24** 福祉にっこり 24時間



多摩同胞会のホームページを携帯でもどうぞ!